



株式会社 サンウェルズ
SUNWELS

2023年3月期 決算説明資料

(2022年4月1日～2023年3月31日)

2023年5月9日

I. 2023年3月期決算概況

II. 2024年3月期予算

III. 2024年3月期～2026年3月期中期経営計画

IV. 事業等説明



2023年3月期決算概況

決算サマリー(営業利益予算比+113百万円について)

■ 通期累計で計画通りPDハウス8施設開設、各エリアでPDハウスが浸透(予算比+320百万円)

- ・ 関東で7施設、関西で4施設のPDハウスを運営、ドミナント効果が出てきており「PDハウス」が各エリアで浸透。
- ・ 新規施設8施設は、開設時に床数の8割を超える入居契約を締結。既存施設12施設は、95%以上の高稼働率を維持。
- ・ PDハウス20施設(1,047床)の待機者は200名を超える。

■ 新型コロナウイルス、光熱費高騰による費用負担が増加(予算比-120百万円)

- ・ コロナ罹患者は職員410名・利用者245名、全施設通期合計で約92百万円のコスト増加
⇒ 2024年3月期は新型コロナウイルス「5類」移行による上記コスト軽減の見通し
- ・ 光熱費高騰により、第4四半期で27百万円のコスト増加 ⇒ 2024年3月期は入居費用の月額4千円増額を実施

■ 介護職賞与倍増による採用計画拡大を構想(予算比-60百万円)

- ・ 2024年3月期より介護職員の年間賞与支給額を1ヵ月から2ヵ月に引き上げ ⇒ 年間賃金8%引上げ
- ・ 2022年10月より賞与引当金増額実施

■ 本社管理部門の人的リソースを拡充(予算比-30百万円)

- ・ 開発部、採用部、教育部において、各部人員合計で19名から38名に増員
⇒ 2024年3月期以降は、更に新規開設数の増加を予定



決算概況 予算実績比較（四半期分解）

- 第4四半期および通期累計の売上高・利益共に予算比プラスで着地
- 新規施設の早期集客（稼働率82%※）、既存施設の高稼働率維持（稼働率96%※）が牽引

（単位：百万円）

	2023/3期 1Q			2023/3期 2Q			2023/3期 3Q			2023/3期 4Q			2023/3期 通期		
	予算	実績	予実 差異 (達成率)	予算	実績	予実 差異 (達成率)	予算	実績	予実 差異 (達成率)	予算	実績	予実 差異 (達成率)	予算	実績	予実 差異 (達成率)
売上高	2,760	2,811	+50 (101.8%)	3,073	3,197	+124 (104.0%)	3,442	3,688	+246 (107.2%)	3,714	4,019	+304 (108.2%)	12,990	13,716	+725 (105.6%)
営業利益	162	192	+29 (118.4%)	267	300	+32 (112.3%)	416	424	+7 (101.9%)	474	517	+43 (109.2%)	1,320	1,434	+113 (108.6%)
経常利益	109	126	+16 (115.4%)	189	224	+35 (118.5%)	329	355	+25 (107.9%)	373	434	+61 (116.5%)	1,001	1,140	+139 (113.9%)
四半期(当期) 純利益	69	84	+14 (121.3%)	124	163	+39 (131.5%)	216	254	+38 (117.8%)	245	280	+35 (114.5%)	655	784	+128 (119.5%)
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期		
PDハウス 開設施設数	-	1	1	1	-	1	2	-	1	1	-	-	8		



決算概況 前年同期比較

- 前年同期比大幅な増収増益
- PDハウス8施設（定員数434名）開設、既存施設高稼働

(単位：百万円)

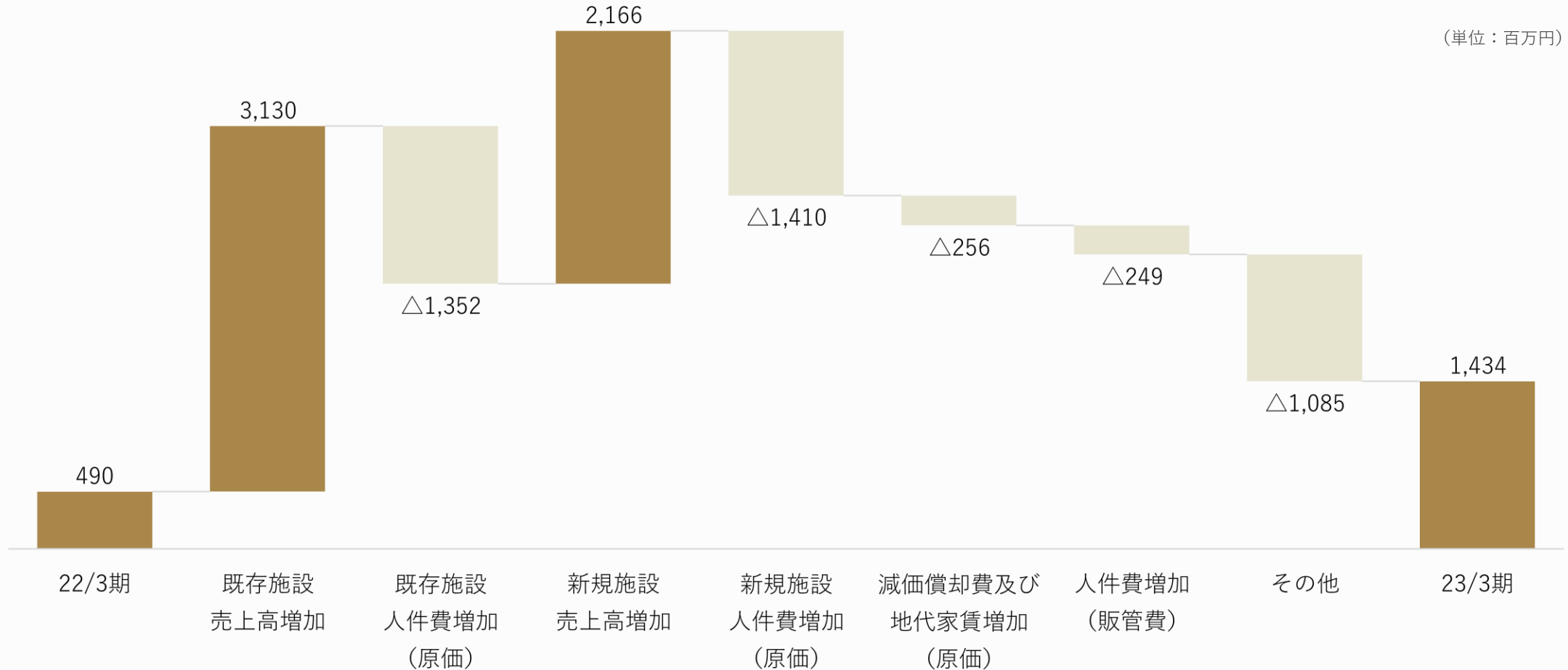
	2022/3期 実績 (売上高比)	2023/3期 実績 (売上高比)	前年同期比(額)	前年同期比(率)
売上高	8,419 (100.0%)	13,716 (100.0%)	+ 5,296	163%
営業利益	490 (5.8%)	1,434 (10.5%)	+943	293%
経常利益	348 (4.1%)	1,140 (8.3%)	+791	327%
当期純利益	255 (3.0%)	784 (5.7%)	+528	307%



決算概況 営業利益増減要因

■ 営業利益は前期比で943百万円の増加

(単位：百万円)

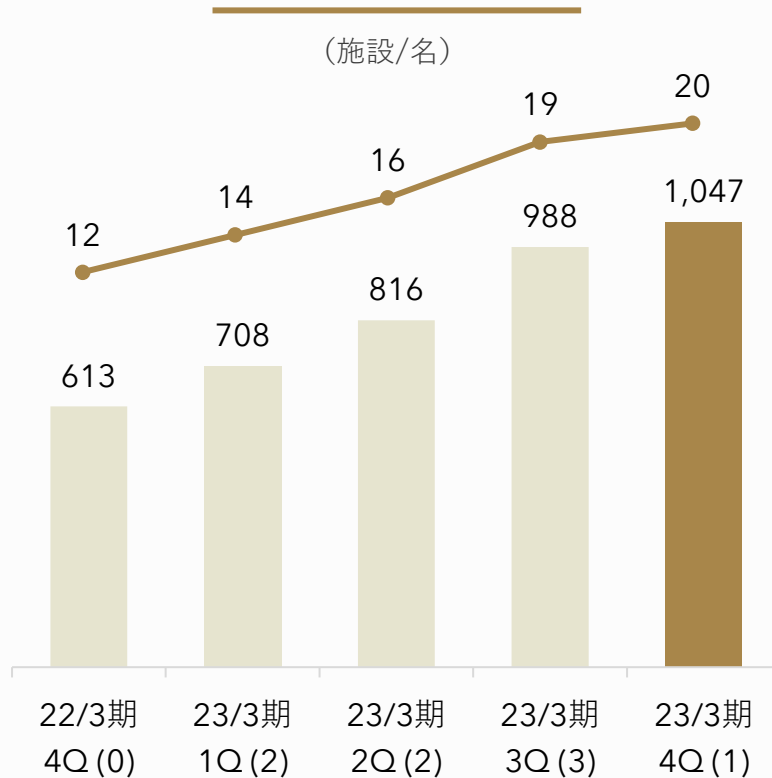




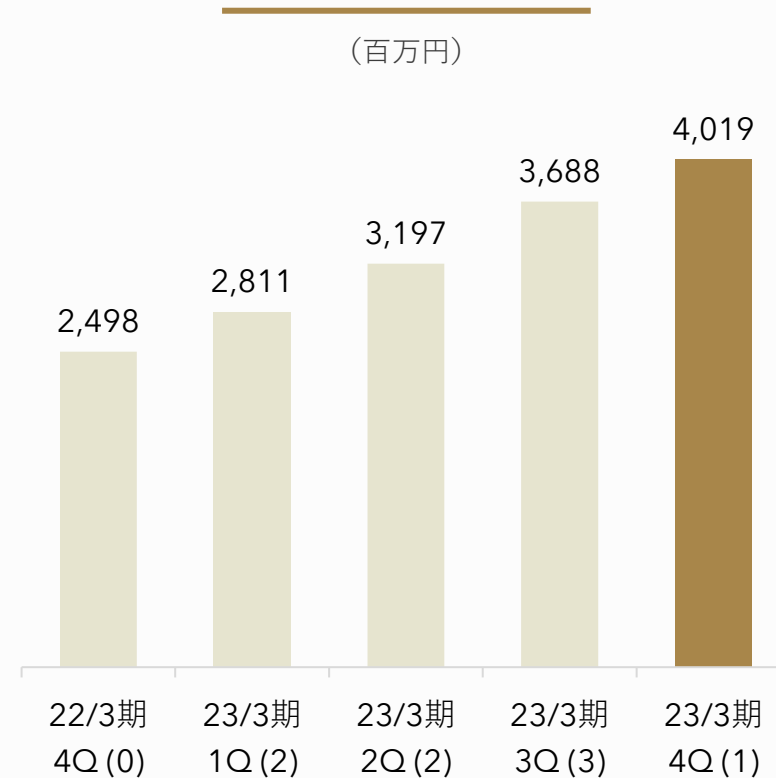
— 施設数
 () 開設施設数

■ PDハウスの施設数は20（定員数は1,047）を達成、売上高は四半期毎で右肩上がり

PDハウス施設数/定員数



全事業売上高

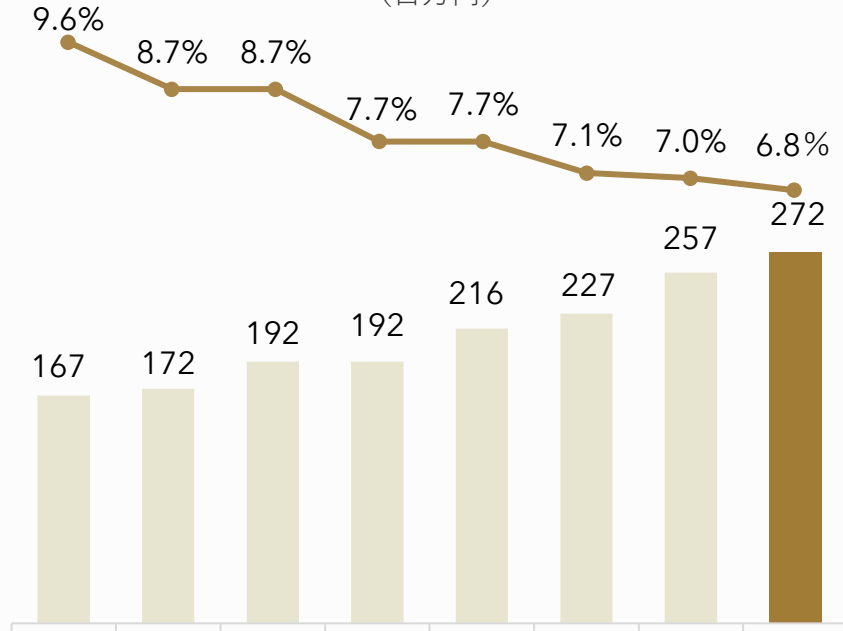




■ スケールメリットにより人件費比率(販管費)は着実に減少 ⇒ 利益率向上

人件費 (販管費:本社管理部門職員)

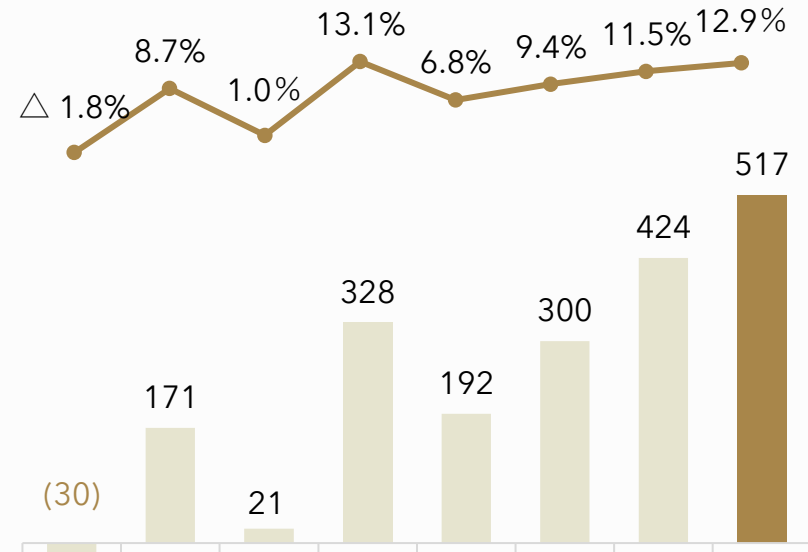
(百万円)



22/3期 22/3期 22/3期 22/3期 23/3期 23/3期 23/3期 23/3期
 1Q (3) 2Q (0) 3Q (3) 4Q (0) 1Q (2) 2Q (2) 3Q (3) 4Q (1)

営業利益

(百万円)



22/3期 22/3期 22/3期 22/3期 23/3期 23/3期 23/3期 23/3期
 1Q (3) 2Q (0) 3Q (3) 4Q (0) 1Q (2) 2Q (2) 3Q (3) 4Q (1)



決算概況

PDハウス稼働率推移 ^{※1}

- パーキンソン病患者への訴求が進む
- PDハウス20施設（1,047床）で待機者^{※2}は200名超

区別	施設数	定員数 (名)	2022年3月期											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
既存PDハウス (開設：2021.3まで)	6	296	95%	94%	95%	95%	96%	93%	95%	93%	93%	94%	94%	97%
新規PDハウス (開設：2021.4から)	6	317	—	40%	39%	55%	63%	72%	65%	62%	63%	72%	77%	84%
開設施設数			—	2	1	—	—	—	1	1	1	—	—	—
区別	施設数	定員数 (名)	2023年3月期											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
既存PDハウス (開設：2022.3まで)	12	613	92%	94%	96%	97%	96%	96%	97%	97%	97%	95%	97%	96%
新規PDハウス (開設：2022.4から)	8	434	—	38%	57%	60%	70%	65%	59%	71%	67%	69%	74%	82%
開設施設数			—	1	1	1	—	1	2	—	1	1	—	—

※1 稼働率 = $\frac{\text{各施設の月末入居者数}}{\text{各施設の定員数}}$

※2 待機者：入居申込書取り受けかつPDハウス未入居の方 (2023年3月末時点)



決算概況

PDハウスの成長戦略

■ 今後の出店加速のため人的リソースの拡充を実施

各部人員
2022年3月末

各部人員
2023年3月末

開発部

- ・ 新エリア（名古屋・熊本）への施設展開が確定
※現状は5つのエリアで運営（関東・関西・北陸・札幌・福岡）
- ・ 今後は他のエリアへも施設展開を予定

4人 ▶ 10人

採用部

- ・ 応募管理課、内定管理課をそれぞれ設立し役割を明確化
- ・ 2022年10月より応募者の母集団形成のためコンサル導入

9人 ▶ 13人

教育部

- ・ 全職員の開設1か月前から3か月間のフォロー研修を開始
- ・ リーダー層は施設開設6ヶ月前研修を実施

6人 ▶ 15人



決算概況 貸借対照表

■ IPO(2022年6月)での資金調達は39億円、自己資本比率は安定化

(単位：百万円)

	21/3末	22/3末	23/3末	22/3末 増減率
資産	4,788	9,015	19,211	+113.1%
流動資産	1,585	2,547	5,425	+113.0%
固定資産	3,202	6,468	13,786	+113.1%
負債	4,094	8,150	13,840	+69.8%
流動負債	1,650	3,116	3,240	+4.0%
固定負債	2,444	5,034	10,600	+110.6%
リース債務	580	3,403	8,794	+158.4%
純資産	693	864	5,370	+521.1%
自己資本比率	14.5%	9.6%	27.9%	+18.3pt



決算概況 CF計算書

- 利益増加に伴い、営業CFは +11億円
- 施設開設に伴い、投資CFは -20億円
- IPOによる資金調達は39億円、財務CFは +26億円

(単位：百万円)

	21/3期 通期	22/3期 通期	23/3期 通期
営業CF	+201	+378	+1,140
投資CF	-648	-633	-2,041
有形固定資産の取得による支出	-587	-452	-1,881
財務CF	+489	+573	+2,696
借入金の純増減額	+613	+749	-875
自己株式の処分による収入	-	-	+3,933
現金及び現金同等物の増減額	+42	+318	+1,795
現金及び現金同等物の期末残高	+496	+814	+2,610

I . 2023年3月期第3四半期決算概況

II . 2024年3月期予算

III . 2024年3月期～2026年3月期中期経営計画

IV . 事業等説明



2024年3月期予算

■ PDハウス9施設(定員数 499名)開設を計画、売上高・利益は更に拡大

(単位：百万円)

	2022/3期 実績 (売上高比)	2023/3期 実績 (売上高比)	2024/3期 予算 (売上高比)	前年同期比 (率)
売上高	8,419 (100.0%)	13,716 (100.0%)	19,052 (100.0%)	+5,335 (139%)
営業利益	490 (5.8%)	1,434 (10.5%)	2,947 (15.5%)	+1,512 (205%)
経常利益	348 (4.1%)	1,140 (8.3%)	2,330 (12.2%)	+1,190 (204%)
当期純利益	255 (3.0%)	784 (5.7%)	1,530 (8.0%)	+745 (195%)
PDハウス施設数	12施設	20施設	31施設 [※]	+11施設
PDハウス定員数	613名	1,047名	1,650名	+603名



2024年3月期予算 四半期分解

- PDハウスの施設数増加により、業績は四半期毎で右肩上がり
- 利益の極大化を目指し、新規施設は1Q～3Qで開設

(単位：百万円)

	2024/3期 1Q予算			2024/3期 2Q予算			2024/3期 3Q予算			2024/3期 4Q予算			2024/3期 通期業績予想
売上高	4,176			4,534			4,993			5,346			19,052
通期比	21.9%			23.8%			26.2%			28.1%			100.0%
営業利益	474			580			855			1,036			2,947
通期比	16.1%			19.7%			29.0%			35.2%			100.0%
経常利益	342			426			694			867			2,330
通期比	14.7%			18.3%			29.8%			37.2%			100.0%
四半期（当期）純利益	225			280			455			568			1,530
通期比	14.7%			18.3%			29.8%			37.2%			100.0%
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期
PDハウス開設施設数	2	-	1	-	1	1	2	1	1	-	-	-	9



2024年3月期予算 取り組みについて

■ PDハウス9施設の新規開設、既存2施設をPDハウス化

- ・ 関東5施設、関西2施設の都市圏への新設に注力し、合計9施設（定員数 499名）を開設予定
- ・ 従来から運営している医療特化型住宅「太陽のプリズム藤江」、「太陽のプリズム戸板」をPDハウス化 ※2施設 104床

■ アメリカの大学病院との連携検討

- ・ アメリカでのパーキンソン病患者ケアへのアプローチ

■ 大学病院・研究機関との紐帯強化

- ・ 2023年4月より関西医科大学と共同研究を開始 ※順天堂大学、福岡大学とは従来より共同研究を実施

■ 業界トップ水準の処遇実現

- ・ 介護士約900名の賞与倍増（年間賃金8%引上げ）、管理部門90名のベースアップ（年間賃金14%引上げ）
- ・ 全国すべてのエリアで年間休日を120日に引上げ

■ 物価高騰に伴う価格転換

- ・ 物価高騰に伴い、月間光熱費10,000円→14,000円、月間食費50,000円→53,000円の価格転換を実施

■ サステナブル基本方針策定（ESG経営）

- ・ 太陽光発電導入、ペーパーレス化の実施（システム拡充）
- ・ セキュリティソフトのバージョンアップ（コンピュータウイルスによる顧客情報漏洩の防止策）

■ ガバナンスの強化

- ・ 社外取締役1名増員、4名体制へ

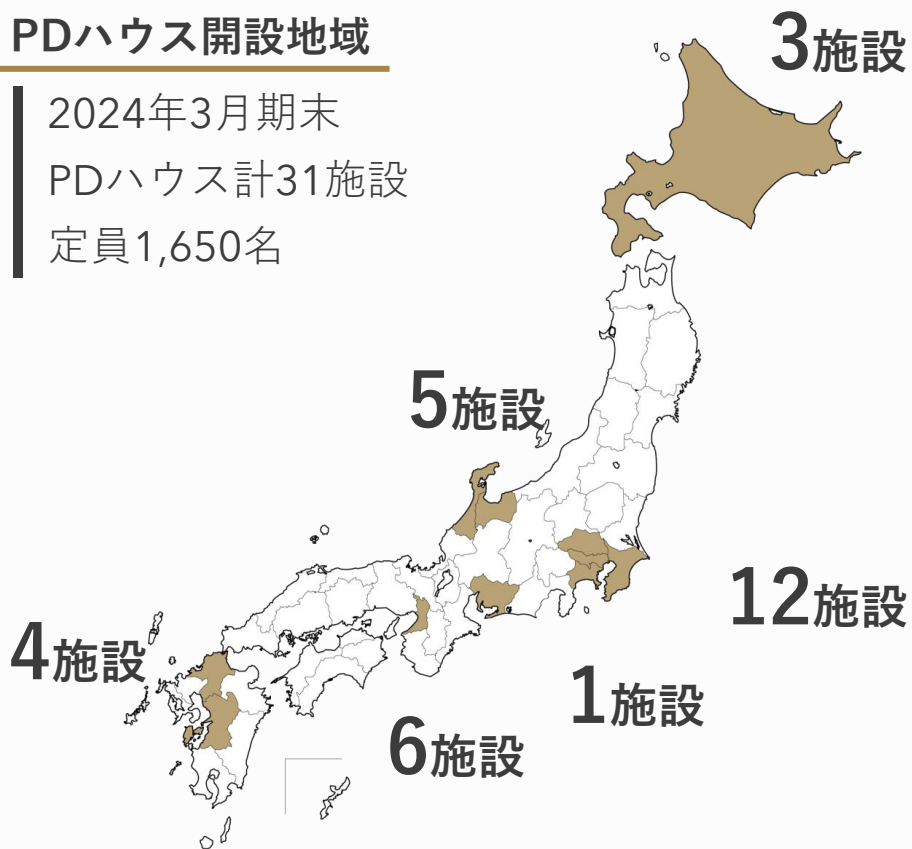


2024年3月期予算 開設計画

■ 2024年3月期は9施設のPDハウスを開設予定（定員数 合計499名）

PDハウス開設地域

2024年3月期末
PDハウス計31施設
定員1,650名



2024年3月期は関東(5)・関西(2)に加え、新エリアの愛知県・熊本県へも展開

No	開設予定時期	都道府県	名称	定員数 (名)
1	2023年 1Q	4月 神奈川県	港南台	60
2		4月 大阪府	城東	60
3		6月 東京都	板橋 II	47
4	2Q	8月 東京都	八王子	50
5		9月 大阪府	東大阪 II	60
6	3Q	10月 東京都	用賀	68
7		10月 熊本県	光の森	53
8		11月 神奈川県	神大寺	48
9		12月 愛知県	平和が丘	53

※ 23年6月開設のPDハウス板橋 II は、既存施設PDハウス板橋と合併予定（定員数に変更はなし）

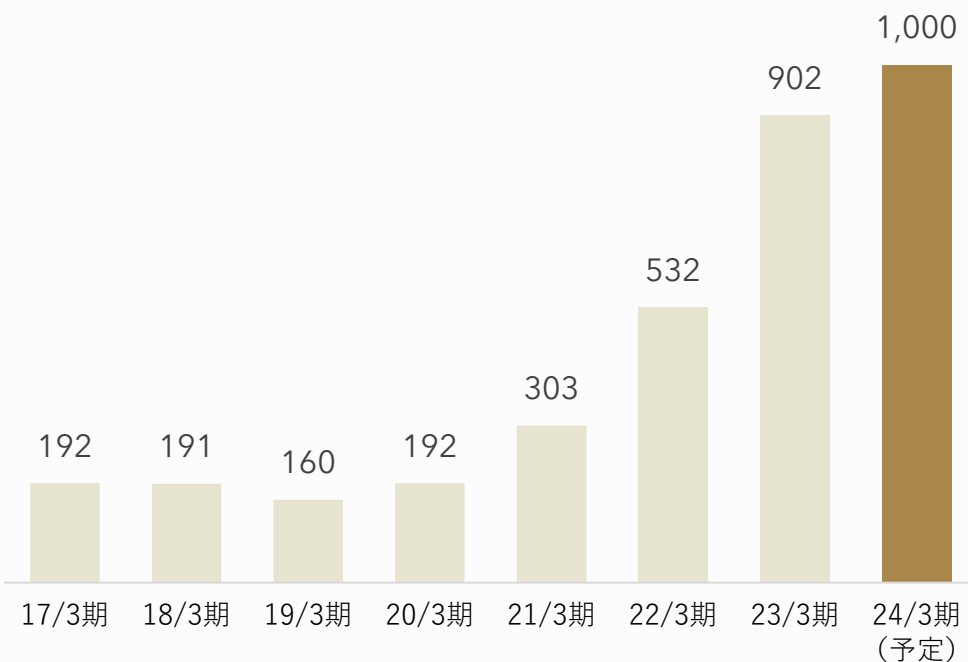


2024年3月期予算 採用計画

- 施設開設数の増加に伴い、2024年3月期の新規採用者数目標は1,000名へ
- 引き続き採用倍率8倍を維持（応募者目標 8,000人）

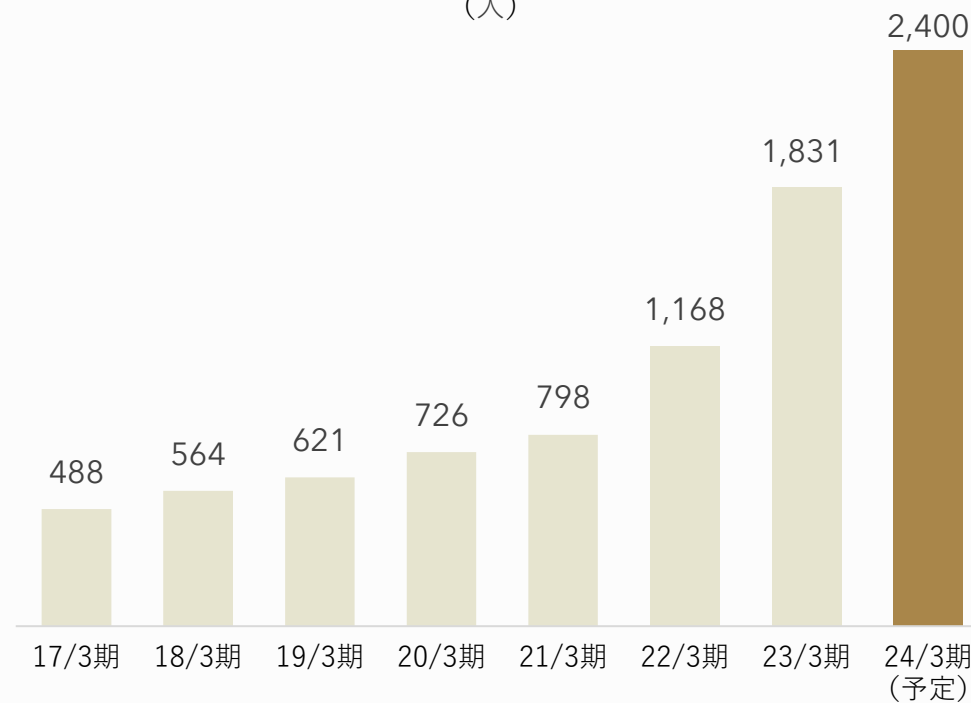
新規採用者数

(人)



期末従業員数

(人)





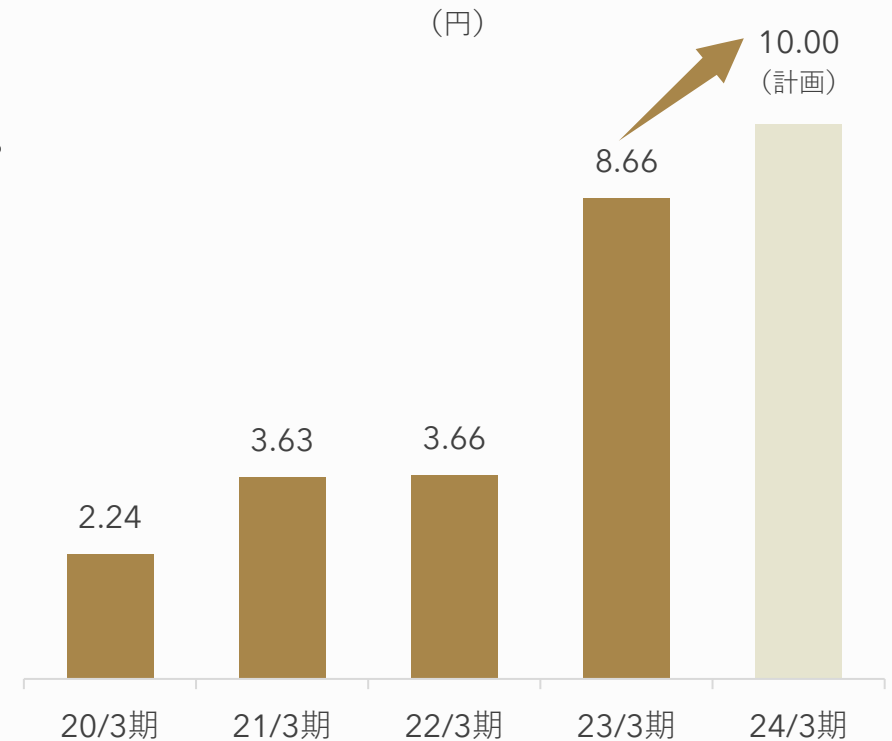
■ 株主配当計画

- ・ 23年3月期の1株当たり配当金は26.00円で実施いたしました。
- ・ 24年3月期の1株当たり配当金は10.00円を計画（分割前基準では30.00円）しております。
- ・ 2023年4月1日付で普通株式1株につき3株とする株式分割を実施しております。そのため実質的に1株当たりの年間配当金は分割前基準で4円の増配（26円→30円）となります。
- ・ 配当性向につきましては、24年3月期は19.5%を計画しており、23年3月期の33.0%から減少します。これはPDハウスの新規開設に充当し、今後の成長を加速するためのものです。

■ 株主配当方針

- ・ 当社は株主に対する利益還元を重要な経営上の施策としております。
- ・ 株主配当につきましては、安定性および継続性に配慮しつつ、業績動向、財務状況等を総合的に勘案して実施していく方針です。

1株当たり配当金[※]



※ 2021年3月25日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割、2022年2月15日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割、2023年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っているため、20/3期の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の1株当たりの配当金の金額を記載



2024年3月期予算 サステナビリティへの取り組み (Environment / 環境)



あらゆる人々が輝く社会を実現するために、サンウェルズは進化と変化を続けます。

項目	主な取り組み
施設運営における環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none">・エネルギー効率に配慮した建設資材(高性能断熱材・再生プラスチック、等)を使用・長期使用可能なステンレス製ゴミ箱の配置・クラウド活用によるペーパーレス化推進
循環型社会実現への貢献	<ul style="list-style-type: none">・GHG(温室効果ガス)排出量の算定・医療廃棄物の適正な処理、保管、管理の徹底・99%再生材ごみ袋使用によりCO₂排出削減に貢献
クリーンエネルギー導入と消費低減策	<ul style="list-style-type: none">・自家消費型太陽光発電の導入によるクリーンエネルギーへの取り組み・全施設の照明LED化によるエネルギー消費量の低減



あらゆる人々が輝く社会を実現するために、サンウェルズは進化と変化を続けます。

項目	主な取り組み
雇用の創出と働き手の待遇改善	<ul style="list-style-type: none">・「PDハウス」の全国展開による雇用の創出、2024.3月期1,000人新規雇用・女性が活躍できる組織体制の構築・介護職賞与引き上げ、本社管理部門給与ベースUP、年間休日の増加（120日）
利用者のQOL向上を見据えた支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none">・全国展開によって広い地域で進行性難病を患う方へのリハビリ機会を提供・社内資格制度による介護従事者の知識・技術の高水準化・均一化、大学病院と定期勉強会実施・PDハウス全施設で専門医監修によるリハビリサービスを提供
最先端の進行性難病研究に尽力し、医療と介護の技術発展に寄与	<ul style="list-style-type: none">・全国の大学病院とパーキンソン病についての共同研究を実施し、治療の進歩に貢献・施設運営によって得た臨床データを活用し、ケアサービス全体の発展に寄与・再生医療を活用したサービスの提供への取り組み



あらゆる人々が輝く社会を実現するために、サンウェルズは進化と変化を続けます。

項目	主な取り組み
ガバナンス強化	<ul style="list-style-type: none">・ 社外取締役1名増員、4名体制へ
情報開示による透明性の向上	<ul style="list-style-type: none">・ 財務情報や事業計画、社会的影響など、重要な情報を適時開示で積極的に公開・ 金融商品取引法に基づいた監査法人による監査等、第三者評価機関による評価を実施
リスク管理と コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none">・ リスクマネジメント・コンプライアンス委員会の設置・ 内部通報制度（社内・社外受付窓口）・ 監査等委員会の設置、指名報酬諮問委員会の設置
プライバシー保護や 情報セキュリティの確保	<ul style="list-style-type: none">・ 個人情報の漏洩に対するセキュリティの強化を図り、被害拡大防止策を策定・ コンピュータウイルス対策のセキュリティソフト(DDHBOX・HENNGE)を導入・ 看護記録ソフトに2段階認証を導入

I. 2023年3月期第3四半期決算概況

II. 2024年3月期予算

III. 2024年3月期～2026年3月期中期経営計画

IV. 事業等説明



2024年3月期～2026年3月期中期経営計画

- 2030年3月期に**100施設・5000床**の展開を確実にする体制を構築
- 3年間で**31施設**のPDハウス開設、売上高・利益の拡大加速

(単位：百万円)

	2022/3期 実績	2023/3期 実績		2024/3期 予算		2025/3期 予算		2026/3期 予算	
	金額	金額 (売上高比)	前期比	金額 (売上高比)	前期比	金額 (売上高比)	前期比	金額 (売上高比)	前期比
売上高	8,419	13,716 (100.0%)	163%	19,052 (100.0%)	139%	24,980 (100.0%)	131%	32,352 (100.0%)	130%
営業利益	490	1,434 (10.5%)	292%	2,947 (15.5%)	205%	4,238 (17.0%)	144%	5,990 (18.5%)	141%
経常利益	348	1,140 (8.3%)	327%	2,330 (12.2%)	204%	3,413 (13.7%)	146%	4,885 (15.1%)	143%
当期純利益	255	784 (5.7%)	307%	1,530 (8.0%)	195%	2,236 (9.0%)	146%	3,201 (9.9%)	143%
PDハウス 施設数 (新規開設施設数)	12施設 (6)	20施設 (8)	167%	31施設 (9)	155%	41施設 (10)	132%	53施設 (12)	129%
PDハウス 定員数	613名	1,047名	171%	1,650名	158%	2,200名	133%	2,800名	127%

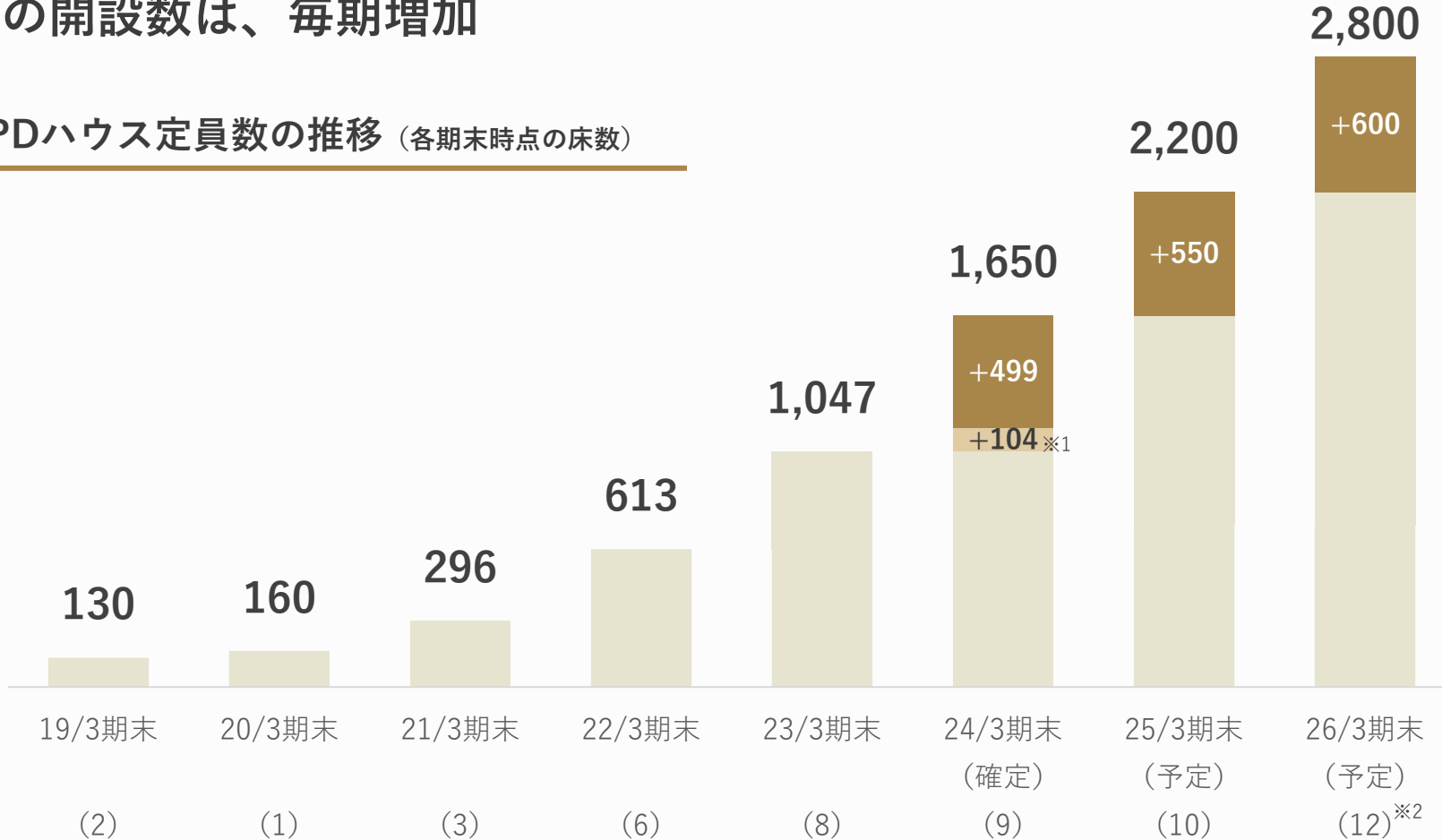


2024年3月期～2026年3月期中期経営計画

開設計画

- 2026年3月期までに、定員数**2,800名**の展開を計画
- 新規施設の開設数は、每期増加

PDハウス定員数の推移 (各期末時点の床数)





2024年3月期～2026年3月期中期経営計画 PDハウスの成長戦略

- 2030年3月期までに100施設・5,000床の展開を確実にする取り組み
- 市場は約4万人、100施設・5,000床を展開してもシェアは**12.5%**

① 土地・建物の選定



年間約1,000件の候補地から選定

② 専門医の確保



全国70名を超える脳神経内科医を確保（毎月増加中）

③ 人材採用



前期902名⇒今期1,000名の採用予定、採用倍率の目標は今期も8倍

④ 人材教育



リーダー層の教育拡充、6ヶ月間のOJT実施

⑤ 入居促進



2023年3月期開設の8施設全てで開設前に床数の8割以上の入居契約（待機者は200名超）

I . 2023年3月期第3四半期決算概況

II . 2024年3月期予算

III . 2024年3月期～2026年3月期中期経営計画

III . 会社概要



会社概要

社名	株式会社サンウェルズ 【英文名】 SUNWELS Co., Ltd.
本社	■ 東京本社 (東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 丸の内ビルディング9階) ■ 金沢本社 (石川県金沢市二宮町15番13号)
支社	■ 大阪支社 (大阪府大阪市北区堂島1丁目1番5号 関電不動産梅田新道ビル10階) ■ 福岡支社 (福岡県博多区博多駅前3丁目27-24 博多タナカビル5階)
代表者	代表取締役社長 苗代 亮達
設立	2006年9月
資本金	35,000千円 (2023年3月期)
従業員数	1,831名 (臨時雇用84名含む / 2023年3月31日現在) ※
事業内容	介護事業など (医療特化型住宅、デイサービス、グループホーム、福祉用具貸与等) ■ パーキンソン病専門介護施設「PDハウス」運営

※従業員数は就業人員であり、臨時雇用数 (パートタイマー及び嘱託契約の社員) については、年間の平均人員数 (1日8時間換算) を記載しております。



会社概要 経営体制



代表取締役社長 苗代 亮達（なわしろ りょうたつ）

1973年7月石川県生まれ。大学在学中に腎臓病を患い中退を余儀なくされる。以降19歳から25歳までの間、闘病生活の為に定職に付けない日々を過ごす。病状から回復した26歳の時に自身の闘病生活から病気の方に役立つサービスを作りたいと思い、父の会社である(有)アイテムを引き継ぎ、介護保険対象者向けの住宅改修事業を開始する。以降2006年(株)ケア・コミュニケーションズ、2007年(株)セントラルケアスタッフ、2008年(株)サライを創業し、2011年3社合併し(株)サンウェルズを設立し、地域にない新しい介護サービスを次々に展開し現在に至る。

専務取締役 越野 亨（こしの とおる）

元地方競馬会所属騎手。2004年に株式会社アイテム（現：当社）に入社。2015年に当社取締役に就任。経営戦略部、開設支援部、運営支援部、開発部を管掌。

常務取締役 長山 知広（ながやま ともひろ）

作業療法士の資格を持つ。2009年に株式会社ケア・コミュニケーションズ（現：当社）に入社。2015年に当社取締役に就任。人事部、採用部、サービス企画部を管掌。

常務取締役 上野 英一（うえの えいち）

北陸銀行入行後、支店長、常任監査役を歴任。2009年にEIZO株式会社の常勤監査役に就任後、2016年に社外取締役就任。2018年に当社取締役に就任。総務部、経理部、リスク管理部を管掌。

取締役 中山 美智代（なかやま みちよ）

当社初の女性取締役。2009年に株式会社セントラルケアスタッフ（現：当社）に入社。2015年に当社取締役に就任。教育部を管掌。

社外取締役常勤監査等委員

田中 誠一（たなか せいいち）

元 株式会社クスリのアオキ 常勤監査役

社外取締役監査等委員

畠 善昭（はたけ よしあき）

税理士法人畠経営グループ 代表取締役

社外取締役監査等委員

中西 祐一（なかにし ゆういち）

中西祐一法律事務所 弁護士



会社概要 事業内容

■ PDハウス（全国で20施設運営 ※2023年3月末時点）

・パーキンソン病の方を対象とした専門施設「PDハウス」を主軸に運営

[入居対象者]

パーキンソン病

- ・ 進行性核上麻痺
- ・ 大脳皮質基底核変性症
- ・ 多系統萎縮症
- ・ 脊髄小脳変性症の方も対応可能



■ 医療特化型住宅（現在 石川県・富山県で5施設運営）

- ・ 食事の提供その他の日常生活上必要なサービスを供与することを目的とする施設。
- ・ それぞれの事業所に訪問介護事業所と訪問看護事業所がある。
- ・ 基本的に生活の場の提供となり、同建物内の上記ステーションよりサービスを提供。

■ 福祉用具事業

- ・ 福祉用具の貸与（介護保険・自費）および販売。
- ・ 住宅改修工事（バリアフリー工事）事業。

■ デイサービス（石川県内で6施設運営）

- ・ 施設に通っていただきながら生活指導・機能訓練・食事・入浴・健康チェックなどさまざまなサービスを日帰りで提供。

■ グループホーム（石川県内で2施設運営）

- ・ 9名×2ユニットの18名の定員を受け入れ。認知症を持たれている方が共同生活を行う施設。

■ 加圧トレーニング事業（石川県内で2施設運営）

- ・ 加圧器具を使用したパーソナルトレーニングを行う。

PDハウス
3つの特徴

- 1 パーキンソン病に特化したリハビリプログラム（専門医監修）
- 2 神経内科専門の医師による訪問診療
- 3 24時間体制の訪問看護・服薬管理



会社概要 売上構成比

(2024年3月期 / 予算)

売上区分	施設数	売上 (百万円)	売上構成比
1 / PDハウス	31施設	16,246	85.3 %
2 / 医療特化型住宅	5施設	1,754	9.2 %
3 / 福祉用具事業	3営業所	440	2.3 %
4 / デイサービス	6施設	401	2.1 %
5 / グループホーム	2施設	165	0.9 %
6 / 加圧トレーニング事業	2施設	43	0.2 %

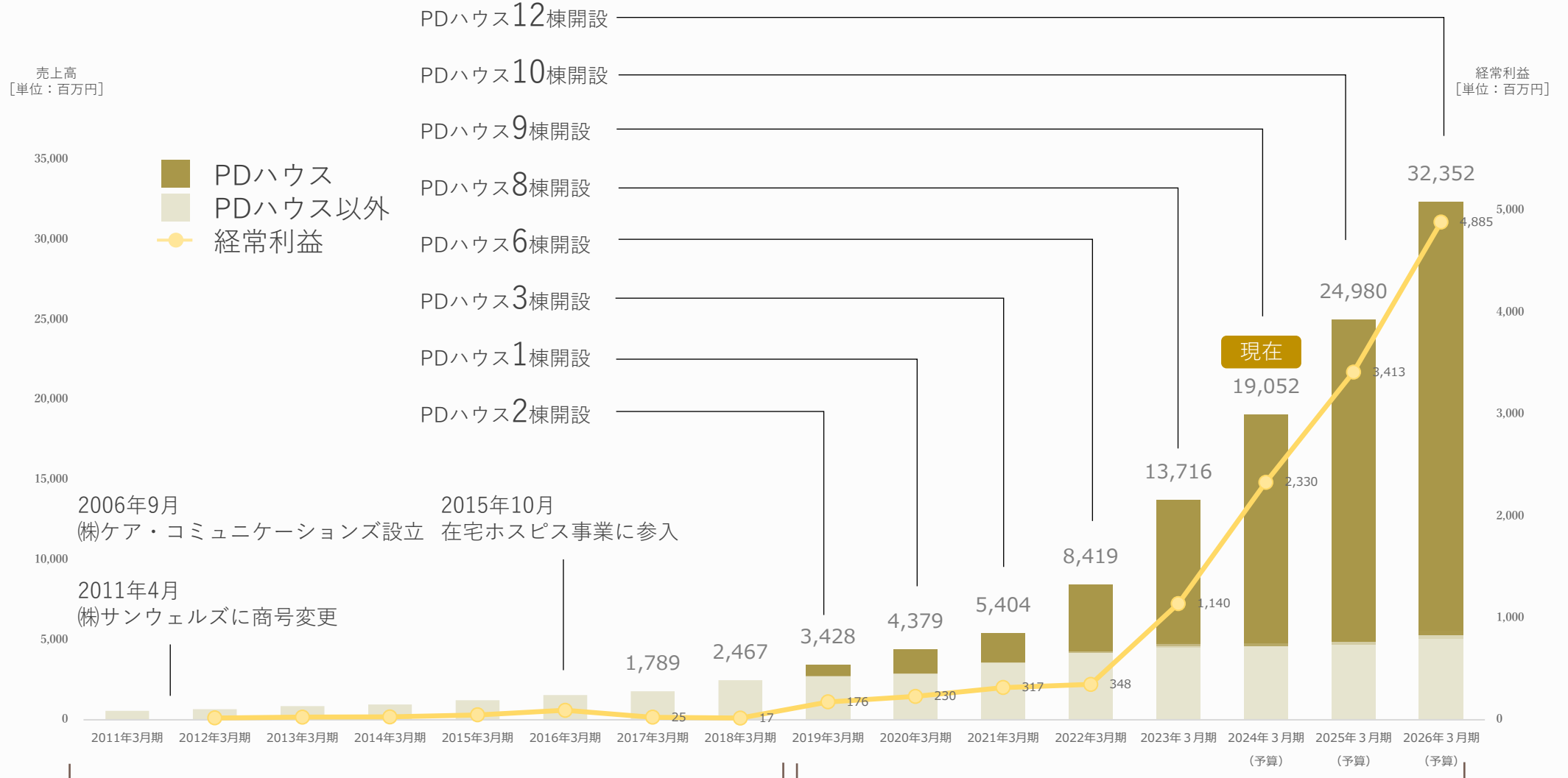
成長ドライバー
全国展開加速中
▶ 今後は集中的にPDハウスを
新設予定

安定した経営基盤
▶ 北陸エリアで展開



会社概要 沿革

2019年3月期PDハウス初開設、以降全国への開設を加速





パーキンソン病患者数と市場規模の比較




* 厚生労働省「2021年度衛生行政報告例」(2021年度末現在)



会社概要 パーキンソン病

脳内のドーパミン神経細胞の変性を主体とする進行性変性疾患で、国の指定難病である。症状は多岐に渡り、世界的にも根治する治療法は確立されていない。病状進行度を表すものとして、以下の表がある。

ホーエン・ヤール重症度*の変化（*パーキンソン病の進行度を示す指標）

Ⅰ度		Ⅱ度	Ⅲ度	Ⅳ度	Ⅴ度
手足の震え 筋肉のこわばり			小刻みに歩く、 すくみ足がみられ、 転びやすくなる 日常生活に支障が出る	立ち上がる、 歩くなどが 難しくなる 様々な場面で介助が必要	車いすが必要になり ベッドで寝ていることが 多くなる 全介助が必要
体の片側	体の両側				

介護サービスが中心

PDハウス入居対象者＝介護保険＋医療保険サービスが利用可能

治療における
3つの課題

- 1 / 通いリハビリにも限度があり、入院以外は**毎日リハビリを受けられる場所がない**
- 2 / 病院に通うことに支障が出始め、**専門医による診察が受けられなくなる**
- 3 / 薬の量や頻度の増加に伴い**適切な服薬管理が難しくなる**



難病でも自分らしく生活できる施設「PDハウス」の全国展開

パーキンソン病専門施設で、3つの課題を解決するサービスを提供

パーキンソン病治療 3つの課題

- 1 / 毎日リハビリを受けられる場所がない
- 2 / 専門医による診療が受けられなくなる
- 3 / 適切な服薬管理が難しくなる



PDハウス3つの サービスで解決

- 1 / パーキンソン病に特化したリハビリプログラム (専門医監修)
- 2 / 神経内科専門の医師による訪問診療
- 3 / 24時間体制の訪問看護・服薬管理



PDハウスの特徴・強み 1 / パーキンソン病に特化したリハビリプログラム「専門医監修」

■ 神経内科の専門医師監修によるリハビリプログラムを状態に応じ提供し評価

施設内での生活スケジュール例

6:30	起床
7:30	朝食
9:30	■ 個別リハビリ (30分)
10:00	趣味時間
11:00	■ 集団リハビリ (30分)
11:30	■ 口腔嚥下体操 (30分)
12:00	昼食
13:00	レクリエーション
14:00	■ 集団リハビリ (30分)
15:00	入浴
16:00	■ 集団リハビリ (30分)
17:30	夕食
20:00	就寝

1日最大150分のリハビリ提供が可能

■ 個別リハビリ

- ・ ガイドラインをベースに、状態に合う最適なプログラムを提供
- ・ 5つの評価項目に沿って状態管理

- ① UPDRS - Part III (病状の進行度の評価)
- ② PDQ - 39 (生活の質の向上度の評価)
- ③ BI (日常生活動作の評価)
- ④ MMSE (認知機能の評価)
- ⑤ InBody (筋肉量の測定)



■ 集団リハビリ

- ・ 大学病院監修の体操やパーキンソン病に必要な動き・要素を取り入れた運動中心のメニューを実施
- ・ ゲーム感覚で行え、医学的にも症状改善の効果が検証済



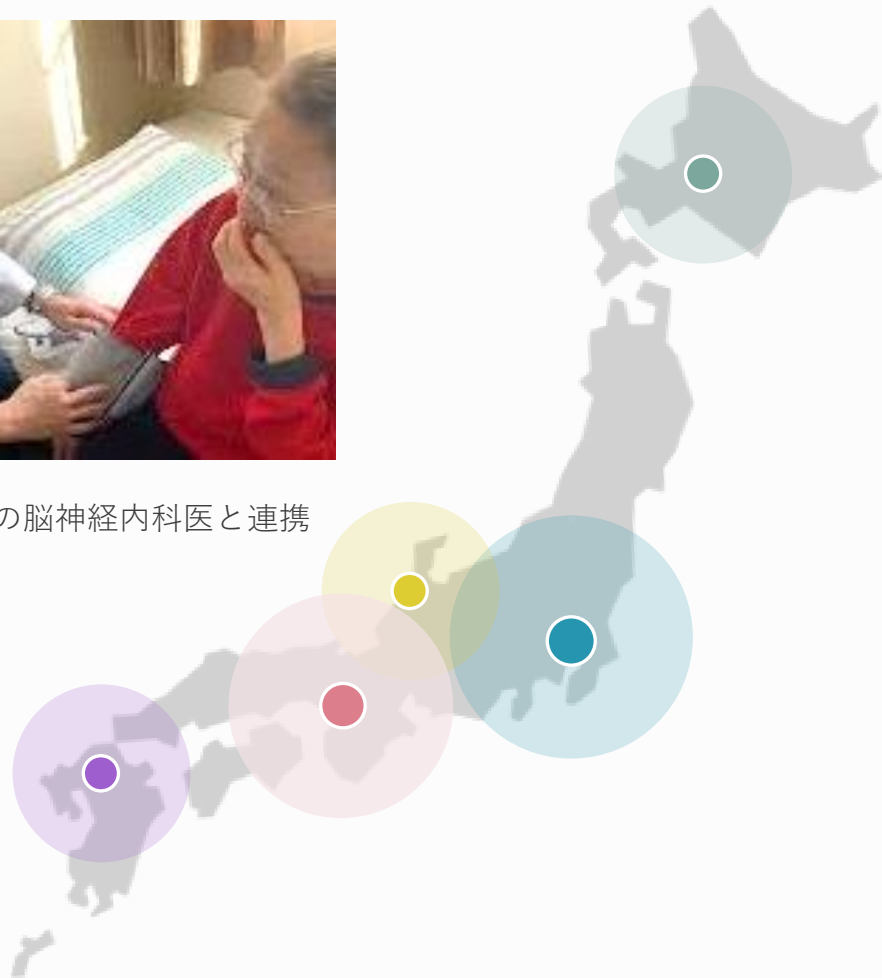


PDハウスの特徴・強み 2 / 神経内科専門の医師による訪問診療

■ 脳神経内科病院と連携し、専門の医師が訪問診療を行う事で入居後も専門的治療を継続できる体制を整備



* 全国で70名以上の脳神経内科医と連携



■ 札幌エリア

脳神経内科医 有吉 直充 ホサナファミリークリニック

■ 関東エリア

脳神経内科医 杉山 雄亮 東京通信病院
脳神経内科医 荻野 裕 豊田内科クリニック
脳神経内科医 富樫 尚彦 相模原病院
脳神経内科医 江浦 寛子 あだち在宅診療所

■ 北陸エリア

脳神経内科医 濱口 歩 金沢医科大学病院
脳神経内科医 疋島 貞雄 金沢大学付属病院
脳神経内科医 柴田 修太郎 金沢大学付属病院

■ 関西エリア

脳神経内科医 松本 禎之 脳神経ホームクリニック
脳神経内科医 宮本 将和 北野病院
脳神経内科医 柏谷 嘉宏 富永病院

■ 福岡エリア

脳神経内科医 坪井 義夫 福岡大学病院
脳神経内科医 堤 光太郎 つつみクリニック



PDハウスの特徴・強み 3 / 24時間体制の訪問看護・服薬管理

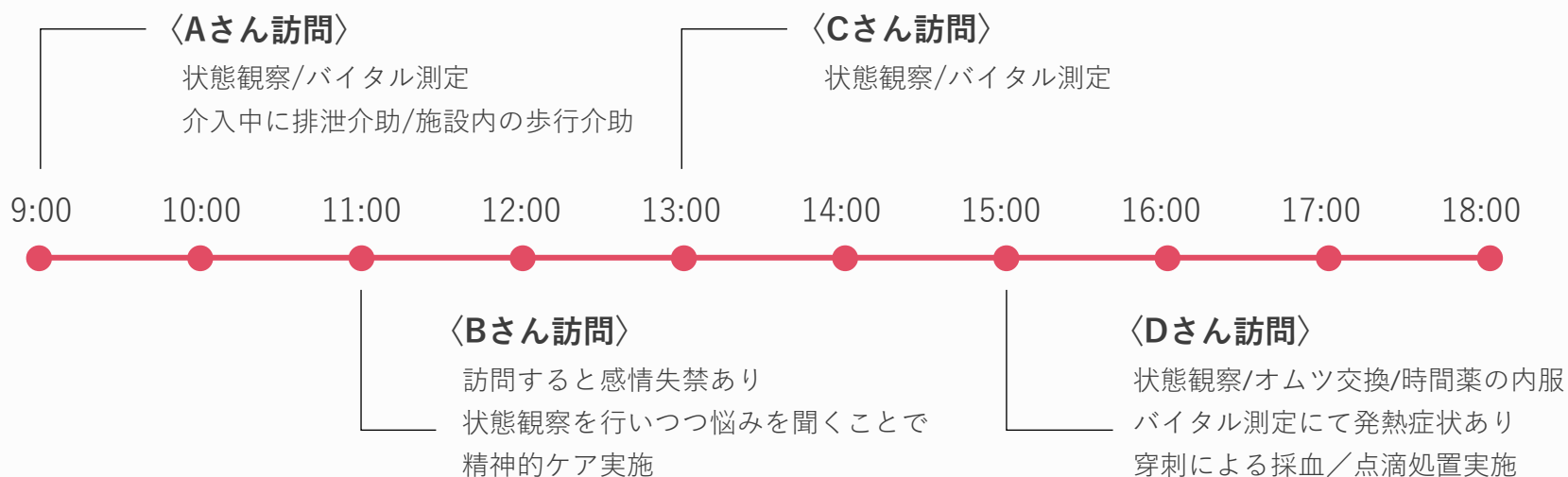
■ 看護師が24時間365日対応することで、細かな症状の変化や副作用の状況も適切に把握し服薬管理が可能。重度になっても「急変時や看取りにも対応出来る体制」を整備。

■ 主な業務内容

- ・ 入居者様の健康管理
- ・ 主治医・薬剤師と連携した内服管理
- ・ 喀痰吸引・胃ろう・在宅酸素管理
- ・ リハビリサポート業務



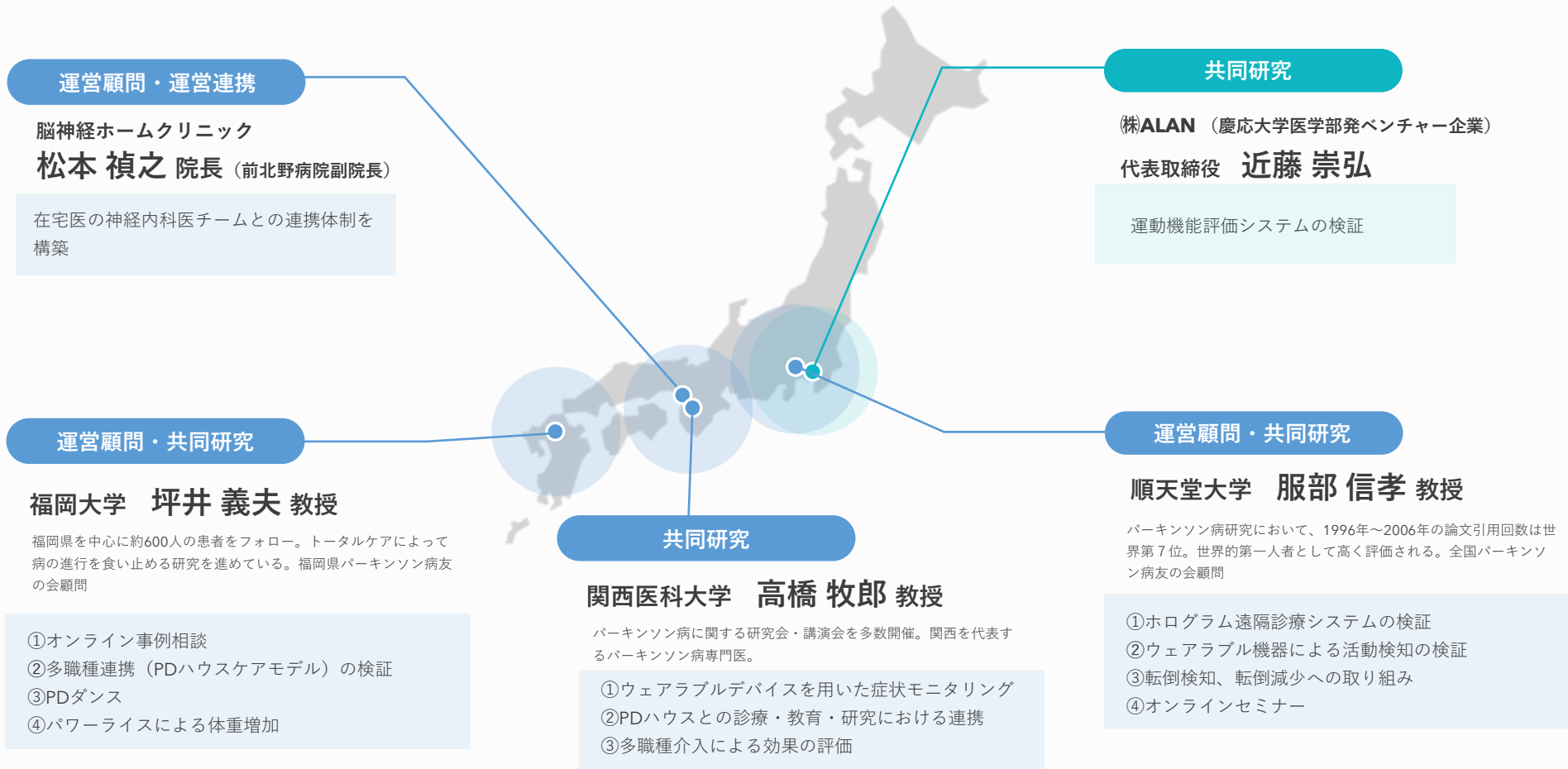
【日中の対応例】





PDハウスの特徴・強み（大学病院・専門病院との共同研究）

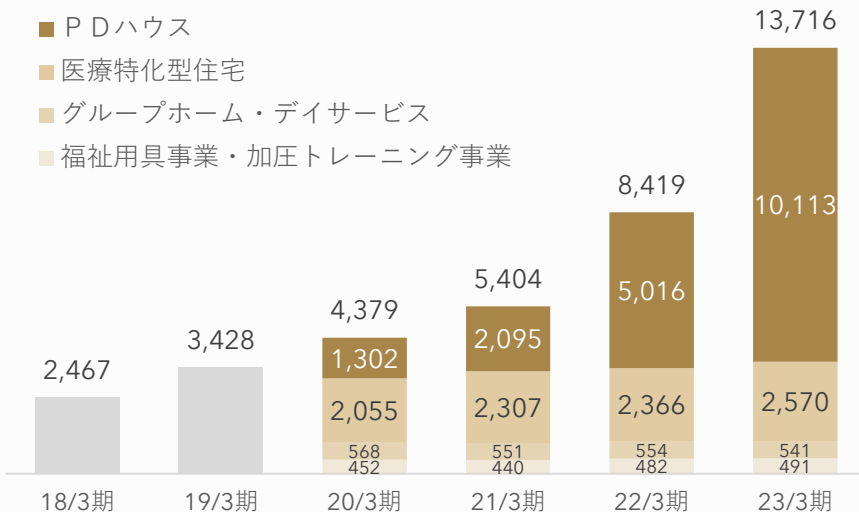
■ 全国のパーキンソン病研究のトップドクターと研究を進め、より効果的な新サービスの創造を目指す



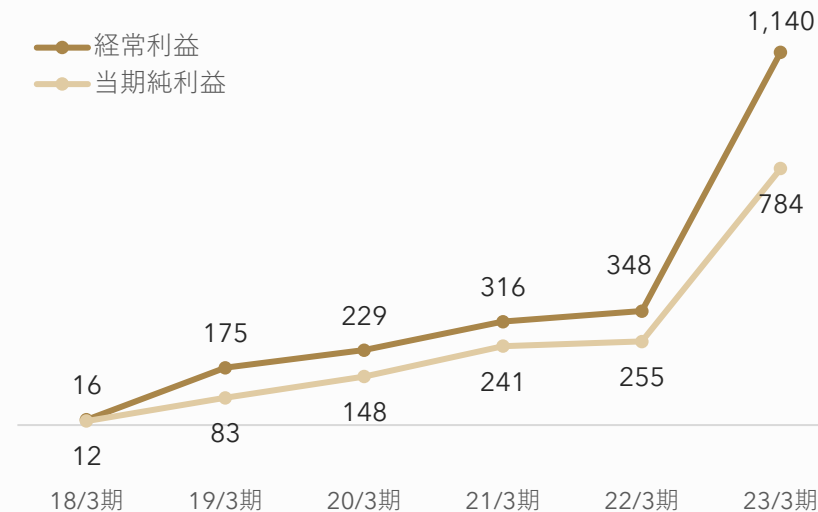


財務ハイライト

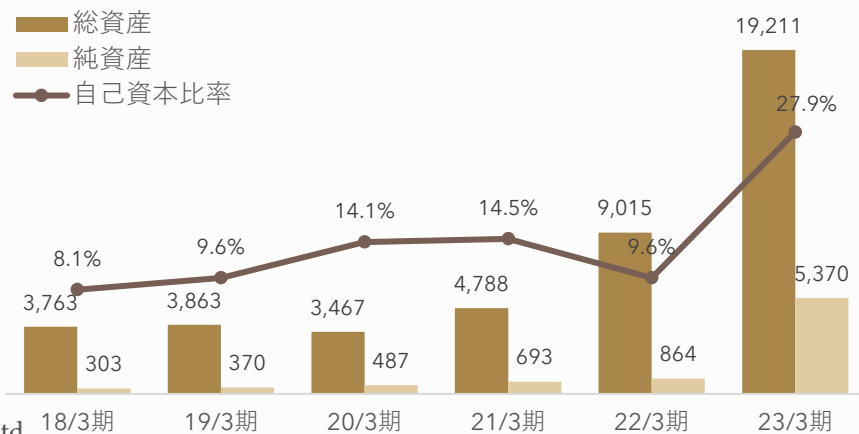
売上高 (百万円)



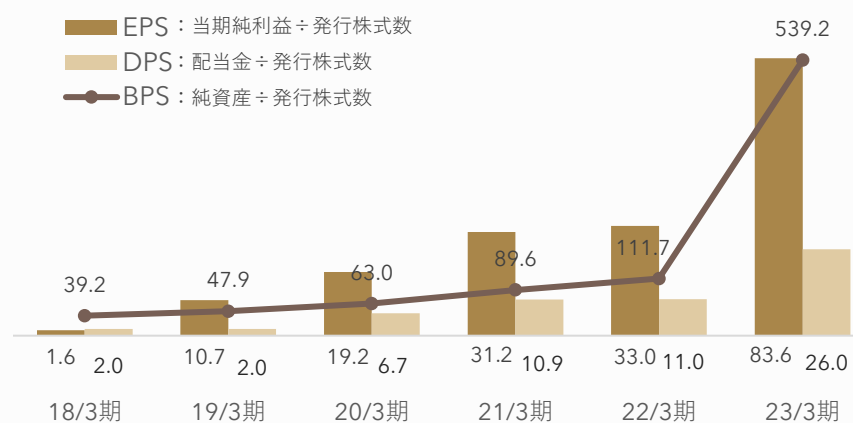
利益 (百万円)



総資産額・純資産額(百万円)・自己資本比率



EPS・DPS・BPS (円)



※発行株式数は3月末時点の株式数で計算しております。



免責事項・お問い合わせ

本資料に記載されている当社に関する予想、計画等の将来に関する記述は、いずれも当社が現時点で把握している情報に基づく予想値です。これらは経済環境、規制緩和などの不正確な事象の影響を受けることで実現しない可能性があります。また、この資料に記載されている予想が計画等将来に関わる記述とは異なる場合があることをご了承ください。

【お問い合わせ先】

株式会社サンウェルズ 経理部

電話：076-272-8982 / E-mail：ir@sunwels.jp